

【研究費区分】： 国際共同研究支援枠

【研究代表者所属】： 都市環境科学研究科 観光科学域

【研究代表者氏名】： 沼田真也

【研究代表者氏名フリガナ】：ヌマタシンヤ

【研究代表者職】： 教授

【国内の研究機関又は大学に所属する研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・ 都市環境科学研究科観光科学域・保坂 哲朗・特任准教授
- ・ 都市環境科学研究科観光科学域・高木 悦郎・助教
- ・ 都市環境科学研究科観光科学域・杉本 興運・助教
- ・ 都市環境科学研究科観光科学域・Eranga Ranaweera・特任助教

【海外の研究機関又は大学に所属する研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・ マレーシア工科大学(UTM)・Mazlan Hashim・教授 持続可能環境研究所・所長
- ・ マレーシア工科大学・Zulkifli Yusop・教授

【研究課題名】： 東南アジアの自然地域における持続可能観光開発に関する研究

【研究実績の概要】（600～800字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

2018年度は、トレンガヌ州政府及び中核機関(TZR Technology Sdn Bhd)との研究契約協定の調整を進めつつ、ジョホール州において野生生物を持続的に観光利用するためのプログラム開発を進めるために、自然資源の評価と観光事業の担い手となる先住民の調査を行った。自然資源の現状を評価するため、リモートセンシングを用いてジョホール州北部における土地被覆、土地利用の変化を定量化し、保護地域指定がもたらした影響について考察した。その結果、保護地域内の森林資源はよく保全されていたものの、周辺地域では森林面積が激減し、多くが断片化していたことが明らかになった。そのため、保護地域外の森林資源は重要な観光資源の一つであるアジアゾウの保全において重要であるため、観光開発においても保護地域外の森林資源を適切に保全するための対策が重要と考えられた。一方、保護地域において観光ガイドの任を担う先住民の自然体験（植物採集、狩猟）の現状について評価を行った。その結果、特に若年層において、いくつかの身近な植物の利用頻度が低下していることが示唆された。自然観光において観光体験の質を高めるためには、ガイドを担う先住民の自然に関する知識・経験が重要であり、これらを維持していくための取り組みが必要と考えられる。

【学会発表（発表題目、発表大会名、年月を記入）】

- ・ Numata, S., Ecology of dipterocarp forests in Southeast Asia: Current understanding and future perspectives. Hands-on: Remote Sensing Data Processing for Forest Composition Identification, 9th IGRSM International Conference and Exhibition on Geospatial & Remote Sensing (IGRSM 2018) Post-Conference Workshop. Serdang, Malaysia. April 2018 (Invited).
- ・ 塚本幸哲、沼田真也、高木悦郎、保坂哲朗 自然環境に対する価値認識は自然的景観の好みに影響を与えるか？マレーシアの大学生を事例として 日本熱帯生態学会 静岡 2018年6月（JASTE28 優秀発表賞）
- ・ Nugroho, P., S. Numata, S. Lucyanti. Community Based Tourism in Gunung Ciremai National Park,

Indonesia 日本熱帯生態学会 静岡 2018年6月

・Jacob, M. Zulkhairi A. Z. A., T. Staka, S. Dubolis, T. Hosaka, S. Numata, E. Renaweewage, Y. Yamane, Huda Farhana M. M., K. K. Miller, A. Shaw, M. A. Weston, V. Lavadinović. A cross-cultural comparison of wildlife value orientations. Pathways Europe 2018, Goslar, Germany. September 2018.

・杉山直之、保坂哲朗、高木悦郎、沼田真也 幼少期の自然体験が自然に対する嫌悪や恐怖に与える影響  
神戸 2019年3月

【論文発表又は著書発行（発表題目、著者、発表誌又は出版社、年月を記入）】

・Mohamad Muslim H.F., Yahya N.A., Numata S., Hosaka T. (2018) Ethnic Differences in Satisfaction with the Attractiveness of Tropical Urban Parks. In: McLellan B. (eds) Sustainable Future for Human Security. Springer, Singapore. Pp147-159.

・Numata, S. & Hosaka, T. (2018) The Current Status and Prospects for Biodiversity in Tokyo. Tokyo as a global city: New Geographical Perspectives. in T Kikuchi and T. Sugai (eds), Springer Singapore. pp 53-68.

・沼田真也・保坂哲朗・高木悦郎 (2018) マレーシアの熱帯雨林における自然資源利用とワイルドライフツーリズム 菊地俊夫 (編) ツーリズムの地理学 ―観光から考える地域の魅力― 二宮書店 pp178-189

・Cao, L., K. Fukumori, T. Hosaka, S. Numata, M. Hashim, T. Kosaki (2018) The distribution of an invasive species, *Clidemia hirta* along roads and trails in Endau Rompin National Park, Malaysia. Tropical Conservation Science. 11: 1940082917752818. DOI: 10.1177/1940082917752818

・Mohamad Muslim, H. F., T. Hosaka, S. Numata, N. A. Yahya (2018) Nature experience promotes public preference for and willingness to coexist with wild animals in Malaysia. Ecological Processes. 7: 18. <https://doi.org/10.1186/s13717-018-0127-7>

・Hosaka, T., Numata, S., Sugimoto, K. (2018) Relationship between childhood nature play and adulthood participation in nature-based recreation among urban residents in Tokyo area. Landscape and Urban Planning. 180: 1-4.

・沼田真也 (2019) 観光・ツーリズム分野における生物多様性:取り組みと課題 日本生態学会誌. 69: 23-27

・Ngo, K. M., T. Hosaka, S. Numata, N. (in press) The influence of childhood nature experience on attitudes and tolerance towards problem-causing animals in Singapore. *Urban Forestry and Urban Greening*.

【科学研究費補助金への応募状況、採択状況】

・平成30年度 科研費 挑戦的萌芽研究代表者「自然保護地域の持続的管理に寄与するバーチャルハンティングプログラム開発」採択

・平成30年度 科研費 基盤B研究代表者「都市住民と野生生物の軋轢解消を目指した生物多様性管理のあり方に関する研究」不採択

【国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

・平成31年度 SATREPS (地球規模の環境課題の解決に資する研究) 研究分担者「マレーシア国サラワク州の国立公園における熱帯雨林の生物多様性活用システムの開発 (京大・市岡孝朗)」条件付き採

扱

**【受賞等】**

・塚本幸哲、沼田真也、高木悦郎、保坂哲朗 自然環境に対する価値認識は自然的景観の好みに影響を与えるか？マレーシアの大学生を事例として 日本熱帯生態学会 静岡 2018年6月（JASTE28 優秀発表賞）

**【その他社会貢献】**

[公的審議会・委員会等の公的貢献, 生涯学習支援・普及啓発, 国際貢献・国際交流等]

- ・文部科学省科学技術・学術政策研究所・科学技術動向研究センター専門調査員として科学技術動向調査に協力した。
- ・自治体技術専門問題作成委員として、職員採用試験問題の作成を行った。
- ・多摩しみどりと環境審議会会長として、審議会（市民による外部評価）のとりまとめを行った。
- ・多摩市街路樹よくなるプラン（道路交通課）改訂委員会・副委員長としてプラン（中期計画）をとりまとめ、今後必要な取り組みを市長に提言を提出した。
- ・国分寺市環境推進管理委員会として、国分寺市の環境政策評価に参加し、アドバイスをを行った。
- ・八王子市環境審議会委員として、八王子市の環境政策評価に参加し、アドバイスをを行った。
- ・八王子しみどりの基本計画策定懇談会座長として、八王子のみどりの基本方針、計画、施策の策定に携わった。
- ・海外連携大学（マレーシア工科大学、マレーシアプトラ大学）の担当者と研究・教育に関する協議を行い、国際交流を実施した。

**【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】**

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

・なし

**【研究分担額】**

(研究代表者・分担者名,所属,金額(円))

・沼田真也、都市環境科学研究科、800,000円